

のむら復興まちづくりデザインワークショップ（愛媛県西予市）

取組概要

西予市野村町では、平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生しました。災害を乗り越えるための復興まちづくりについて、市民、行政、学識者等の専門家が一体となって、地域の課題や将来像、地域構想について意見交換を行う場「のむら復興まちづくりデザインワークショップ」を継続的に開催し、「これまでの“のむら”」を守り「新しい“のむら”」を創ることを目指します。

取組の効果

6回のワークショップにより、よりよい“のむら”の実現に向けた道標として「のむら復興まちづくり計画」を策定しました。この計画は、野村に住む地域の人たちが描いた、野村の将来像を形にしたものとなっており、今後、行動に移すための話し合いを継続していく予定です。

創意・工夫した点

- ・ 地域のあるべき姿を一人称で語ることからスタート
- ・ 次代の担い手である高校生の参画
- ・ 地元大学の協力

他団体へのアドバイス

災害は全国どこでも起こりえます。自分事として、仮に災害が発生したと想定した事前復興について検討することをお勧めします。

人口 36,909人（R2.4.1現在）

担当 復興支援課



ワークショップの開催状況



河川沿いの空間整備の状況